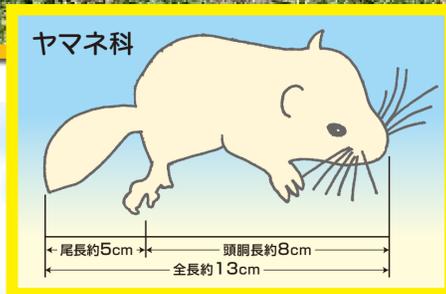




朝倉市で見つかった 天然記念物



設置した調査巣箱



巣箱の中にいたヤマネ

毎月第2週は
きらきら美花美化
週間
きららちゃん

掲示期間 令和元年11月1日～令和2年2月29日まで



ヤマネは、環境調査で偶然発見されました。

ヤマネは、1975年に個体数の減少から国の天然記念物に指定された日本の固有種で、朝倉市では、10年前に初めて確認されました。「山の守り神」とも呼ばれるヤマネは、全長13cmほどで、冬は体を丸めて冬眠するかわいいう小動物です。環境の安定している天然林に住むと言われて見かけることはできませんが、その姿から「森の妖精」とも呼ばれています。また、「不思議の国のアリス」の中でも「どんなにいたずらしても起きない眠りねずみ」としても登場しています。この貴重なヤマネが朝倉の豊かな森に住んでいます。これからも豊かな環境の中で、すくすく育つようにしてほしいものです。

令和元年度 朝倉市小学生自由研究 環境部門

小学生が夏休みに取り組んだ自由研究の優秀作品の表彰式が、平塚川添遺跡公園で行われました。本年度の環境部門賞を紹介します。



「プラスチックゴミ問題について」
にしおか ゆう
蜷城小学校 5年 西岡 優さん



10月12日(土)から11月3日(日)まで平塚川添遺跡公園ロビーで、作品が展示されました。



受賞者の声

身近なプラスチックが、ゴミになり、細かく砕かれて「マイクロプラスチック」となるという事。それを魚が食べてしまい、最終的に私たちが口にして健康被害が起こるかもしれない事がわかりました。私達が今できる事に、ゴミの分別や減量があります。そして、世界中の一人ひとりが協力して取り組まなくてはいけないと思いました。

シリーズ山城 第9回 上秋月城



八幡宮



堀切



茶畑

朝倉市上秋月の秋月八幡宮付近標高115mにある丘城です。築城年代は不明。秋月氏家臣・坂田氏の居城であったことから坂田城とも言われています。

八幡宮から北西約100mの尾根先端部分に深さ3m程の堀切があり、当時の面影が残されています。その西側は主郭部分と思われませんが、現在、茶畑になっています。